

## 施策評価調書(26年度実績)

施策コード Ⅱ-1-(5)

政策体系	施策名	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出	所管部局名	農林水産部	長期総合計画頁	85
	政策名	知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の振興	関係部局名	農林水産部、商工労働部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	新事業の創出	他産業や研究機関などとの有機的連携	資源循環型システムの構築

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	産業連携により開発された商品数(商品数)	①②	H16	6	73	183	250.7%	80												
ii	小水力発電施設整備箇所数(箇所)	③	H16	4	7	7	100.0%	8												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	サポートセンターへのアグリプランナーの配置などの機能強化や関係機関の緊密な連携体制の構築により、新商品の開発件数は着実に増加している。またセンターでは委嘱した専門家(プランナー)によるきめ細かな助言・指導を実施しており、今後もより一層の新商品開発が期待される。	達成
ii	達成	平成26年9月に竹田市土地改良区の農業用水路を活用した事業を採択し、施設整備箇所数は計7箇所となり、目標を達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・世界農業遺産ブランドを活用した「国東半島宇佐地域世界農業遺産地域ブランド認証品目」に新たに米が加わり、乾しいたけ、シチトウイ加工品と合わせて3品目となった。
②	・植栽や機械、荒茶加工施設整備等への支援を行った結果、大手飲料メーカーへのドリンク原料出荷量が187t、産出額は162百万円に達した(H25原料出荷量: 162t/同産出額: 147百万円)。
③	・稼働中の7地区の他、松木地区(九重町)、元治水地区(由布市)、緒方地区(豊後大野市)で工事に着手した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	世界農業遺産ブランド推進事業・世界農業遺産ファンド推進事業	1,567,506	A	継続・見直し	163
②	6次産業化サポート体制整備事業	33,527	A	継続・見直し	164
	大分の茶産地強化対策事業	53,023	A	継続・見直し	165
③	(公)小水力発電施設整備事業	270,423	-	-	167
	木質バイオマス熱利用促進事業	42,800	A	終了	166

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」第2回活力部会(H26.10)          ・地域活性化には6次産業化も必要。ただ、研修会では自己完結型の話が多い。農業者はものを作ることはプロだが、売るという能力は劣っているように思う。販売や加工にノウハウを持つ地域の食品産業と連結した取組が重要ではないか。</p>
--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化サポートセンターの活用により、魅力的な商品開発に向けた加工業者・実需者とのマッチングや連携を強化する。</li> <li>・食品産業のニーズに対応した周年出荷体制の構築に向けた取組を推進する。</li> <li>・世界農業遺産ブランド認証制度を活用した米や乾しいたけ、シチトウイ加工品をはじめとする農林水産物の販売を促進する。</li> <li>・地域エネルギーの活用を促進するため、農業水利施設を活用した小水力発電施設整備の推進や、林地残材を活用した木質バイオマス発電所への安定供給体制の構築を図る。</li> </ul>